

やりたいことが 分からない ～就職できない 若者たち～

大学ではキャリア教育、就職準備の強化をしているようで「やりたいことを見つけなさい」「好きなことを…」と熱心に指導しているそうです。でも学生たちはやりたいこと、好きなことがすぐに見つからず...中には迷いすぎて就職できない人もいます。

そもそも好きなことを選んで今の仕事にしている人は5%もいないと思います。教えている先生もどうかも知りません。

多くの人は

いろいろな選択肢の中で、その時の価値感やご縁やちょっとした勢いで今の仕事を選び、とりあえず続けている人も多いことでしょう。好きな仕事というより仕事が好きになるということはよくあることだと思います。例えば...

こんな感じの

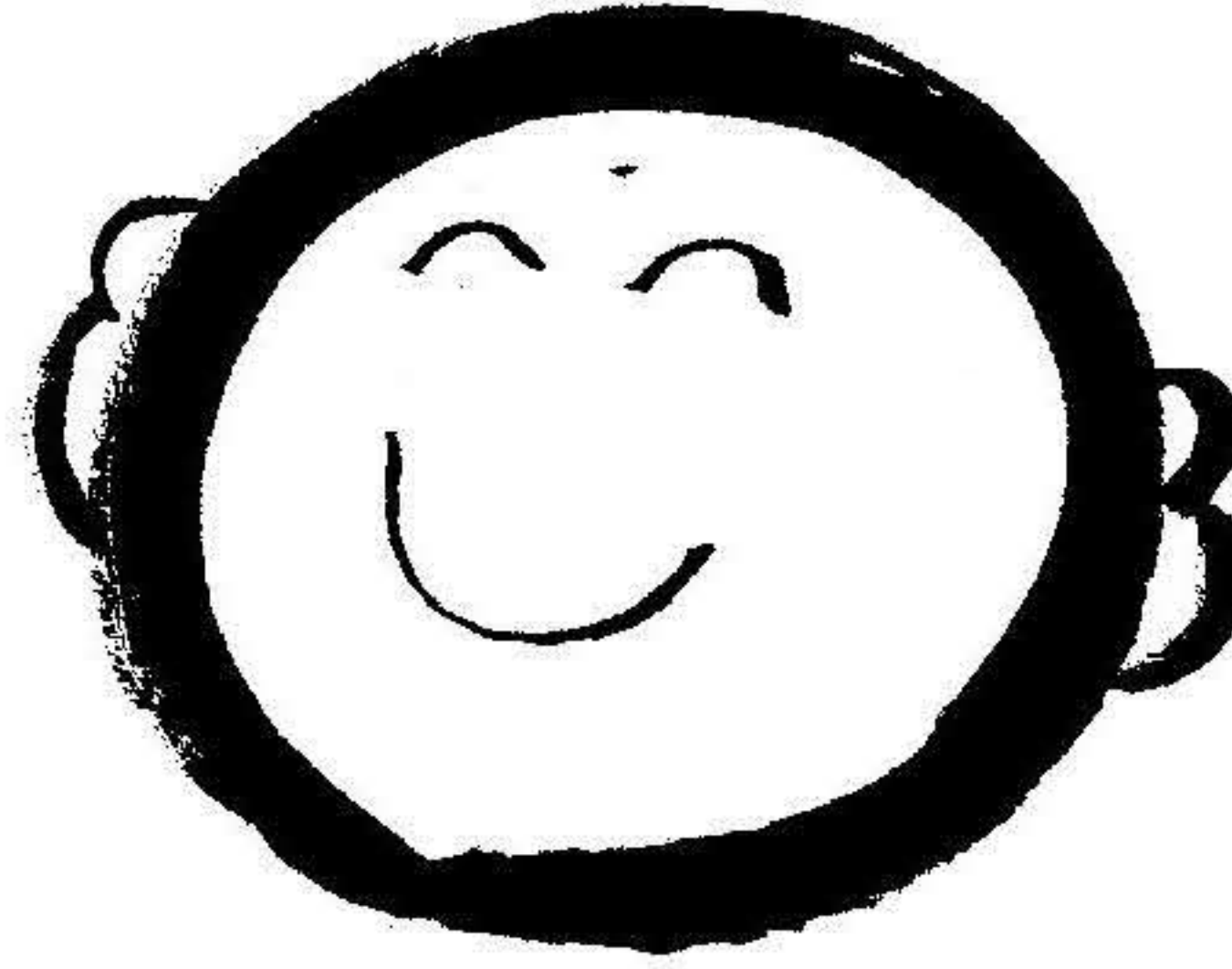
会社等で目の前に与えられた仕事、単純なくり返しの仕事でも一生懸命にやっていると上手くなり、周囲から誉められ嬉しくなり、さらに頑張る上達し、そこに工夫を加えることで達人となり、若き人に教え、やりがいを感じる。気がつくと今やっている仕事は何となくとても好きになっている。

仕事というものは本来どのようなものかも知れません。

お世蔵さん たより

2012. 2月号

今回は、就職
働くことについて
いろいろと
投げかけて
みました。



ソニックジャパン 金沢支店 支店長
(社)生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会(JAIFA)
前本部副会長、石川県協会相談役(前会長)
鳥越介順(とりごえ かいじゅん)

仕事があるのは 幸福

人生の半分は
仕事をしていると思う。

主婦も含めて、家族のため、人のために働けることはとてもやりがいのあることです。幸福度アンケートの結果でも「高齢でも仕事がある」ことが幸福の指標の一つでした。

人は働けることを幸せに
思える生きものなのです。

ちょっと考えてみましょう

下記に2つの例があります。どちらのケースも大好きなことを仕事にしています。

パン屋のゆみさん

主婦35歳のゆみさんの趣味は「パン作り」。好きだから上達して... 焼いたパンはご近所や友人にもプレゼントしていた。本当に美味しいパンにみんな喜んでくれました。ある時友人の一人が「こんなに美味しいならパン屋さんを始めたら...」その気になってしまったゆみさんは実際にパン屋をopenするが大ヒット!! 人気が出て行列ができるほど。おかげで朝4時起きでパンの仕込み... 身体もクタクタ... ある朝オープン前でゆみさんは「こんなことがやりたかったことじゃあ」とつぶやいた。

シェフのケンさん

小さいころから料理が大好きなケンさんは念願のレストランを持つ。料理には自信があり、味も来店した人々をうならせるほどでした。しかし、お客様の集客が上手くできず、お店は赤字続きでお金のやりくりで頭を悩ませる日々が続きました。ケンさんは小遣みながら店を閉めることになりました。ケンさんは手放す店の前で「大好きな料理だったのに...」とつぶやいた。ケンさんは日々好きな料理に没頭し、研究もかかさぬ努力家でした。